

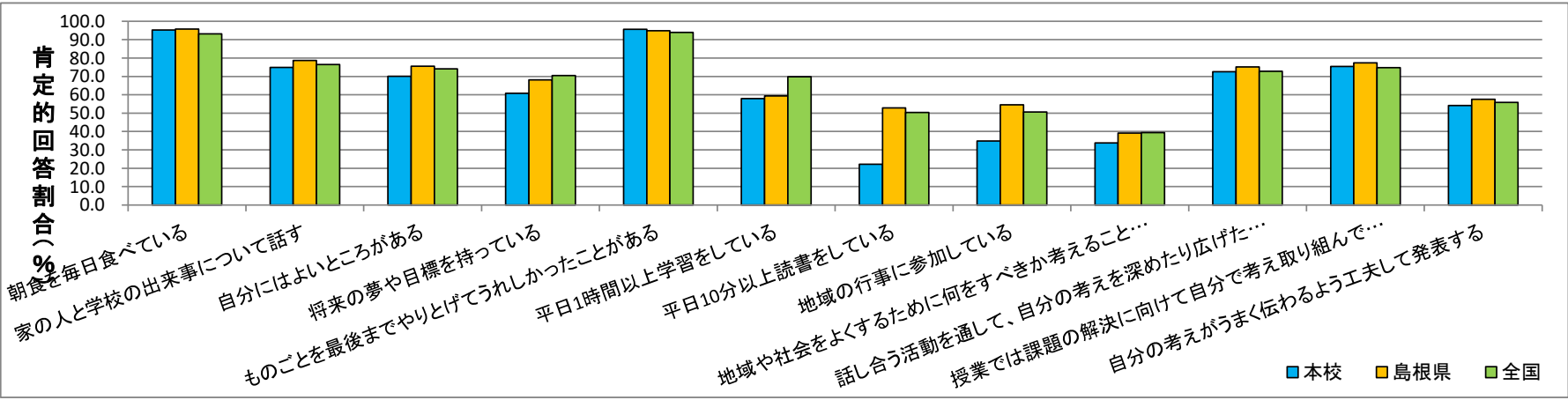
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策
国語	○読み取ったことに対して自分の考えをまとめ、表現する力がついてきている。 ○短歌等、既習の内容は定着している。 ●話合いの話題や方向を捉え、自分の考えをもつ力が弱い。 ●語彙力が不足している。	・学校の教育活動全体で話合い活動を取り入れ、経験を積むようにする。 ・授業での新聞の活用や読書環境の整備など、言語環境を整える。
数学	○評価の観点の分類において、数学的な技能の平均正答率は全国、県ともに上回っているため、基本的な計算力がついてきている。 ●数学的な見方や考え方、数量や図形などについての知識・理解の2観点については全国、県より、ともに下回っていた。 ●全国、県と比較し無解答率が高い傾向にある。	・数量や図形などについての知識・理解については、授業等の発表や話合い活動で数学用語をきちんと使い、振り返りの活動の時間をとる。 ・数学的な見方や考え方については、ペア学習やグループ活動を通し、多くの考え方に触れさせ生徒の多様な考え方を引き出す学習活動、形態の工夫をする。 ・授業に「学び合い学習」を取り入れ、課題解決に向けて粘り強く取り組む態度の育成を促す。
英語	○聞く能力を問う問題の正答率が比較的高い。 ○選択式の問題の正答率が比較的高く、知識の定着がうかがわれる。 ●書く能力を問う問題の正答率が低い。 ●記述式の問題の無解答率が高く、表現への意欲の低さがうかがわれる。	・教科書等の英文を読んで終わり、聞いて終わりではなく、その情報に対する自分の考えを書く時間をコンスタントに設ける。 ・スモールステップを踏ませ、書くことへの抵抗感を取り除く。

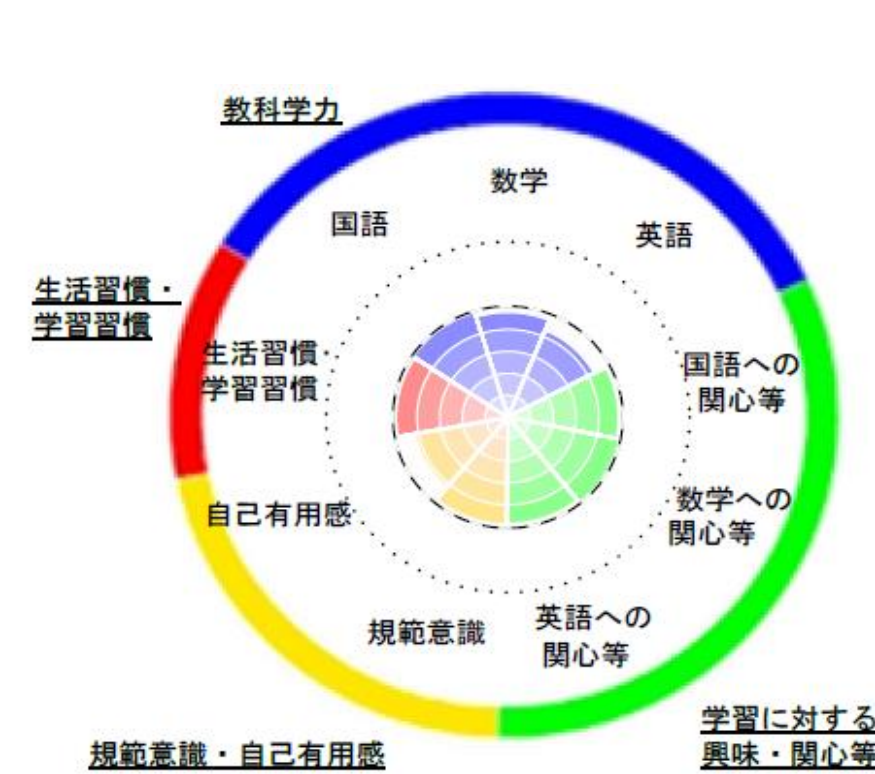
(2)生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策
○毎朝朝食をとっている生徒が多く、健康第一で様々な活動に取り組んでいる。 ○部活動や行事などに積極的に参加し、達成感を感じている生徒が多い。 ●家庭学習の時間が全国に比べて少ない。 ●読書時間が少ない。	・自学ノートや基礎力テストの取り組みを充実させる。 ・読書時間の確保に努めるとともに委員会等で読書を奨励する活動を行うようにする。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・教育活動全体で「話合い活動や学び合い活動」を意識して取り入れるようにする。
--

【参考】

○平均正答率

	本 校	松江市	島根県	全国
国語	73	73	73	72.8
数学	57	60	57	59.8
英語	49	54	53	56.0

(%)

受検者数 207 人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。